



MAC NEWS

ゆうメール

2024年 7月号



勉強したことが一番定着する方法とは？

～MACでもその方法を実践中です！！～

「知ってる？元吉本の高卒芸人が、学習塾を経営して成功してるんやって」

ある日、久々に会った友人と世間話をしていたら、こんな話をしてきました。

あるバラエティ番組の「よく面倒を見ていた後輩、芸人を辞めてからの人生は？」というコーナー。人気の芸人さんが元後輩芸人の名前を挙げ、番組がその後輩が今何をしているかを調査する、という企画があったらしく、友人はその放送を見ていたのです。そこに登場したのが、塾経営で成功している元芸人さんです。

芸人で売れなかったから別の業界へ・・・というのはよく聞くけど、なぜ高学歴だったわけでもないのに塾の経営？しかも成功している??

と疑問しか湧かない中、興味があったのでその芸人さんや塾について調べてみると・・・。

意外や意外。この元芸人さん、なかなか面白い塾を経営されていました。

塾では勉強を「教えず」に「教えてもらう」！？

何が「面白い塾」だと感じたのか？それは塾のあるシステムです。

その塾では塾長は勉強を教えず、子供たちが楽しく勉強に取り組める環境を作るのが仕事なのだとか。塾長は勉強を教えない代わりに、有名大学に通うアルバイト講師が勉強を教えます。そして単元が終わるたびに生徒はテストを受けるのですが、なんと塾長も同じテストと一緒に受けるのです。

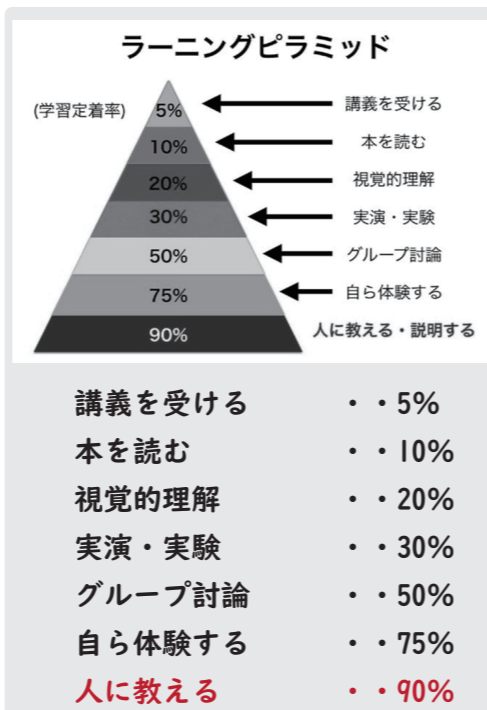
面白いと感じたシステムはここなのですが、必ずテストの後、塾長は生徒に問題の解き方を教えてもらうのです。

「へえ、そーやって解くんかあ。すごいなあ。教えてくれてありがとう！」

そんなやり取りを繰り返すうちに『あの塾には面白い塾長がいる！』と噂になり、芸人時代の最高月収1万円だった彼は、今では安定した生活を送れているそうです。

「人に教える」のが、学習したことを一番定着させる

アメリカ国立訓練研究所は、どのような学習が学習定着率を向上させるのかを表す「ラーニングピラミッド」を発表しました。それが下図になります。



なぜ人に教えることが、学習定着率の高さにつながるのでしょうか？その理由は大きくは二つあります。

① 伝えることにより 内容理解が深まる

例えば問題が解けて○が付いたら、その問題の解き方（考え方）を人に教えられるか？と言えば必ずしもそうとは限りません。○にはなったけど何となく解いて○になった、理由はよく分からないけどこう解くと習ったから、その通りに解いて○になった・・・。

人に教えるとなると、その「なんとなく」をしっかりと論理的に解説しなければなりません。そうすることで「なんとなく」だったのが「なぜその答えになるのか根拠ある解き方」に変わり、その過程が学習定着率の向上に繋がっていくのです。

② 今まで学んだことを 改めて整理できる

自分が理解している問題でも、自分の説明の仕方で相手が理解できるとは限りません。その場合は他の説明の仕方で理解してもらえないといけません。そうすると今まで学んだことを違う角度から見たり、違う伝え方を考えたりします。その過程で自分でも気付いていなかった学びが言葉となり、再認識されるのです。

そうすることで知識の引き出しの中にある「点」だった情報がつながり「線」になり、その線がま

た繋がり「面」になるのです。

MACでも「教え合い」の 時間を取り入れています

小学部の授業では論語を音読していますが、その後にプリントの文章学習（以前は昔話で、今は道徳の話材）に5～10分程度取り組んでもらっています。このプリントは2週で1枚取り組むのですが、1週目はプリントに書かれている文章の漢字の読み調べ、2週目は全員漢字の読みが分かっているので、ひとり数行ずつ読んで回していきます。

1週目の「漢字調べ」の時ですが、限られた時間なのでそれぞれが辞書を使いながら1文字1文字調べていたのでは、全く時間が足りません。そこでMACでは高学年の生徒達に、下の学年の生徒達を教えてもらっています。

これだけ聞くと「MACの先生は楽をしている」と思われてしまいそうですが、狙いはまさに「他の人に教えることでの学習定着率の向上」なのです。

さらに、上級生は「しっかりしなくては！」という自立心も持つようになりますし、低学年には上級生を敬う気持ちも生まれるので、短い時間ではありますが非常に重要な意味を持つ時間となっています。

中学部でも「人に教える」でぐんぐん成長

卒業生にこつこつ真面目に頑張

るタイプのAさんと、いつも隣に座っているBさんがいました。Bさんは自学自習していて分からないことがあるとよく隣のAさんに質問し、AさんはそんなBさんに答えを教えるのではなく、上手に考え方のヒントを教えてくれていますした。

その結果・・・Aさんは中3の時に100点満点を4度も取りました。

元々努力家で真面目なので、テストではほぼ全て90点以上を取っており、自分自身で試行錯誤し、質の高い自分なりの学習方法を確立したことは言うまでもありませんが、それに合わせて「Bさんへ教える」ことでそれが定着化され、確かな結果に繋がったのでは・・・と感じています。

「インプット」と「アウトプット」はセットが重要です

情報を受け取る＝脳にインプットをしている状態です。

しかし、ほとんどの人がインプットをたくさんしているにも関わらずアウトプット（情報発信）ができていません。せっかく学んだことを定着させたいのならば、ぜひそれをどんな形でもいいのでアウトプットしてみてください

実を言うと、トライアルが終わる度に親子で見返しながら感想文を書いて頂く時間を取っているのも、このアウトプットの時間を意識的に作っているのです。ぜひ感想文を書く時間を「面倒な時間」ではなく、「我が子を伸ばす時間」とお考え頂き、ご協力下さいね。